

# KiKiの広場

2014年 10月 1日

cafe NO.48  
KiKi



めでたく4周年を迎えた「ヒストリア宇部」と「cafe KiKi」です。昨年不本意ながら価格改定をさせていただきましたが、変わらずのご愛顧、心よりお礼申し上げます。

館長始めスタッフ一同、ハード面ソフト面でのより進化を目指し、5年目の一步を踏み出しました。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

## 🍰「今月のケーキ」…「フィン風カスタードスフレ」 350円 🍰

🍎🍎🍎🍎🍎🍎🍎🍎🍎🍎🍎🍎

**10月の予定**

13日(月)	臨時休業
14日(火)	休館日
毎日曜日	定休日

🍎🍎🍎🍎🍎🍎🍎🍎🍎🍎🍎🍎



カスタードクリームとメレンゲをあわせたバニラビーンズ入りの滑らかなスフレ生地に、ミルク風味クリームをたっぷりのせ、チョコレートソースで仕上げました。ビターなキャラメルソースがきいた甘味を抑えたスイーツです。

## 🍀🍀🍀🍀🍀🍀🍀🍀🍀🍀🍀🍀

### 今月のお気に入り…「木と葉っぱの絵本」

～「はっぱじゃないよ ほくがいる」「おおきな木」「木のうた」「落ち葉」「いちじくの葉」「あかいはっぱきいろいはっぱ」など～



「はっぱじゃないよ ほくがいる」は、日本の森を撮り続ける写真家、姉崎一馬さんの写真絵本です。この中でてくるはっぱはみんな生きています。目があって口があって、見つめられ語りかけられているのを感じます。身近な葉っぱを見るのが楽しみになります。「おおきな木」は、世界中で翻訳され続けているシェル・シルヴァスタインのロングセラーで、1人の少年と1本のリンゴの木の一生を描いた絵本です。リンゴの木の少年への深い愛に心を打たれます。日本で最初に訳した本田錦一郎さんと、新版の村上春樹さんの訳微妙なニュアンスの違いを味わってみてください。



### 今月の本棚…「田島征彦&田島征三の世界」

～「ふたりはふたご」「絵の中のほくの村」「激しく創った! 田島征彦と田島征三の半世紀」「ちからたろう」などなど～



「じごくのそうべえ」の田島征彦(たじま ゆきひこ)さんと「とべバッタ」の田島征三(たしま せいぞう)さんは、兄 征彦さん 弟 征三さんの双子の兄弟です。本名は「たしま」ですが、征三さんの方が先に世に出たので、区別するために征彦さんは「たじま」としたそうです。2人合作の「ふたりはふたご」は、自分の絵は自分で担当して描いてあり、それぞれの個性あふれる絵のタッチと、双子ならではのほのぼのとしたお話と一緒に楽しめます。また征三さん作の「絵の中のほくの村」は、2人が生涯で一番大切にしたい思い出と語る、高知での少年時代のお話です。2人の共通した原風景を感じます。映画にもなり、2人とも本人役で登場されています。ちなみにベルリン国際映画賞で「銀熊賞」をとった作品だそうです。



## 🍂🍂🍂🍂🍂🍂🍂🍂

### ほっとフライク

🍎🍎🍎🍎🍎🍎🍎🍎🍎🍎🍎🍎

カフェのレジ横の飾り棚に、いろいろな形のおもちゃカボチャが飾ってあります。竹馬の友のNさんが毎年くださっているもので、初めて見た時はこんなにたくさんの種類のカボチャがあるのかと驚きました。

全て観賞用で食用にはならないとのこと・・・もったいないような、ちょっと食べてみたいような・・・。

お客さんも「絶対食べれんことはないじゃろう。」という食欲派や、形の面白さに思わず写メを撮られる観賞派、そしてこのカボチャを描いてみたいと持って帰られる芸術派と、カボチャ1つとっても見方・感じ方は人それぞれですね。ただ調べてみると、食べられるおもちゃカボチャも存在するらしく、やはりどうしても食べてみたいと思う今日この頃・・・(\*^。^\*)。同じく竹馬の友のYさんも、竹の子・なす・栗・あけびなど季節の便りのように、いつも旬のものを届けてくださっています。おかげさまで、カフェの中は外に出なくても季節感たっぷり。自然のものって食べてもそうですが、見るだけでも何か特別の力が湧いてくる気がします。

